

かわぐち消化器内科

第35回 冬の激しい嘔吐・下痢

—ノロウイルスに注意！

冬に多い食中毒の代表はノロウイルス感染です。汚染された食料品(特に魚介類)やウイルスが付着した手・調理器具を通じて感染します。主な症状は激しい嘔吐、下痢、腹痛、発熱、頭痛、筋肉痛です。感染してから1~2日で発症し、症状は1~3日ほど続きます。特に小さな子供や高齢者は脱水になりやすいため、水分補給が重要です。症状と流行状況から診断しますが、確定が必要な場合には便検査を行います。特効薬はなく、対症療法(整腸剤や吐き気止め)が中心です。

感染力が強いため、予防のポイントを以下にまとめました。

- ①手洗い
- ②十分加熱した食事
- ③感染者の嘔吐物や排泄物は、家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)を薄め、換気しながら消毒
- ④アルコール消毒では不十分
- ⑤調理器具や食器の消毒は85°C以上で1分以上の加熱でウイルスを死滅

冬はノロウイルスが流行しやすい季節です。正しい予防と早めの対処で重症化を防ぎましょう。



院長 川口 義明



かわぐち
消化器内科

TEL 045-830-5311

港南区港南台5-23-30 港南台医療モール3F

[診療時間]

午前 9:00-12:00

午後 16:00-17:30

[休診]

木曜・日曜・祝日
(土曜午後)

